

[畑・転換畑作部門]

1. 小麦「ふくほのか」の適正な播種時期と播種量

[要約]

「ふくほのか」の播種適期は11月中下旬である。これより早い播種では凍霜害に遭う危険性があり、これより遅い播種では収穫時期が梅雨期となりやすい。適正な播種量は6～7kg/10aである。

[担当] 作物研究室

[連絡先] 電話 086-955-0275 (作物・経営研究室)

[分類] 技術

[背景・ねらい]

本県で新しく奨励品種への採用が予定されている「ふくほのか」について、適正な播種時期と播種量を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「ふくほのか」は「シラサギコムギ」よりも出穂期は6～13日早く、成熟期は1～8日早い。しかし、播種時期が遅くなると成熟期の差は小さくなり、12月上、中旬の播種では梅雨入り(平年値6月6日)後となる可能性が高い(図1)。
2. 10月下旬～11月上旬の播種では、3月上旬に幼穂長が10mm以上になり、凍霜害による減収や検査等級の低下がみられることがある(表1)。
3. 10月下旬播種や12月中旬播種で減収することがあるが、それ以外では播種時期による収量差は大きくはない。また、播種時期が遅いと蛋白質含量は高くなる(表1)。
4. 厚播きするほど穂数が増加するが、播種量が5.2～12kg/10aの範囲であれば収量差は小さく、蛋白質含量の差も小さいので、播種量は慣行の6～7kg/10aでよい(表1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 県中南部のドリル播栽培に適用できる。
2. 12月上旬播種は、収量は確保できるが、収穫時期が梅雨期となりやすい。
3. 「ふくほのか」は凍霜害の危険があるため早播きは避ける。

[具体的データ]

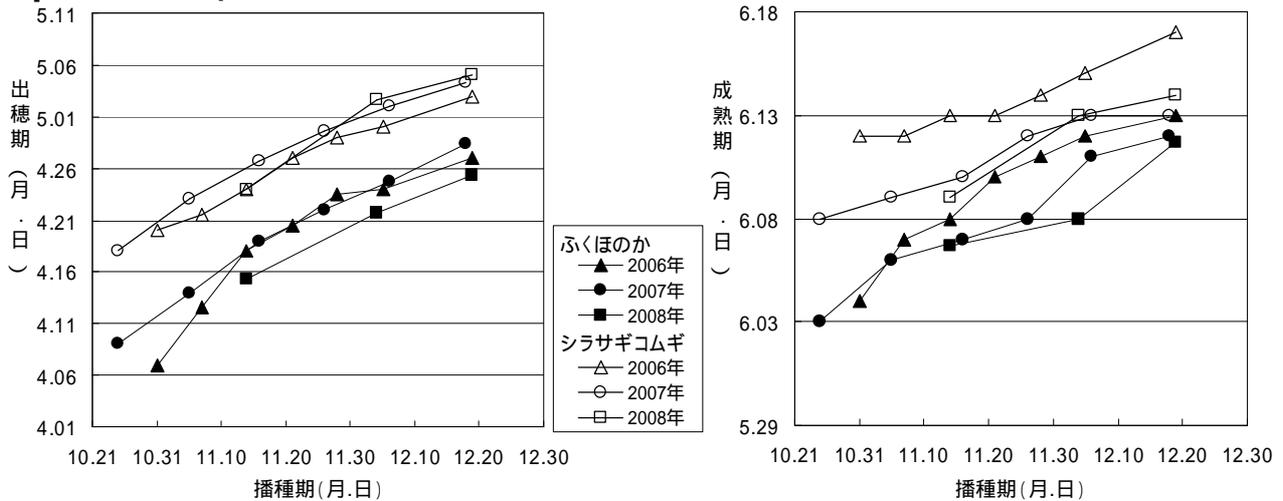


図1 播種時期と出穂期、成熟期

(播種量は2006年;5.1kg/10a、2007、2008年;6kg/10a)

表1 作期、播種量別の収量、蛋白質含量、検査等級、凍霜害

年	播種日	子実収量 (kg/10a)				作期別 平均	蛋白質含量 (%)				作期別 平均	検査等級	凍霜害 (0.4)
		2.6~ 3kg	5.2~ 6kg	7.8~ 9kg	12 kg		2.6~3	5.2~6	7.8~9	12			
2006	10.31	541	567	552		553	8.2	8.1	8.2		8.1 a	2中~2下	3
	11.07	613	627	659		633	7.9	8.0	7.9		8.0 a	1上~1下	1
	11.14	554	626	718		633	7.8	7.7	7.8		7.8 a	1上~1中	0
	11.21	549	607	644		600	8.0	7.7	7.7		7.8 a	1上	0
	11.28	581	602	595		593	8.2	7.9	8.0		8.0 a	1上~1下	0
	12.05	596	618	596		603	8.3	8.0	8.0		8.1 a	1上~1下	0
	12.19	647	628	639		638	8.6	8.7	8.7		8.7 b	1上~1中	0
播種量別平均		583	611	629			8.1	8.0	8.1				
2007	10.25		530									1上	1
	11.05	570	596	633		600 a	7.5	7.4	7.3		7.4 a	1上	0
	11.16	481	519	543		515 b	7.7	7.4	7.4		7.5 a	1上	0
	11.26	482	511	520		504 b	7.6	7.3	7.3		7.4 a	1上	0
	12.06	469	549	608		542 ab	8.0	7.8	7.8		7.9 b	1上	0
	12.18		371						8.7			1上	0
播種量別平均 (11.5~12.6播)		501 x	544 x	576 y			7.7 x	7.5 xy	7.4 y				
2008	11.14	420	423	431		425	8.2	8.2	8.7		8.4 a	1下	0
	12.04	320	360	385		355	8.7	8.1	8.1		8.3 a	1中~1下	0
	12.19	394	427	499		440	8.8	8.7	8.8		8.8 b	1中~2上	0
播種量別平均		378 x	403 xy	439 y			8.6	8.3	8.5				

²播種量は2006年;2.6、5.2、7.8kg/10a、2007年;3、6、9kg/10a、2008年;3、6、12kg/10a

注1) 窒素施肥は基肥-追肥-幼穂30mm期穂肥の順に、2006年;5-3-3または5-4-3kg/10a、

2007、2008年;5-3-2kg/10a

注2) 異なるアルファベット間には年次ごとに5%の有意差 (Tukey)

[その他]

研究課題名: 小麦有望品種「ふくほのか」の高品質栽培技術の確立

予算区分: 県単

研究期間: 2007~2009年度

研究担当者: 宮武直子、井上智博、新見敦、杉本真一

関連情報等: 1) 平成21年度試験研究主要成果、23-24

2) 平成21年度試験研究主要成果、25-26